

～車イスバスケットを体験しました～

車イスバスケットボールの体験会への参加は2度目でしたが、1度目とは違って実際の体験がメインでした。慣れない車イスの操作に加え、ボールをついたり、投げたり、キャッチしたりなど難しさを感じましたが、それよりも普段自分が見ている視界とはちがった高さで車イスを漕いだり、車イスだからこそのスピードや、足を使えない不自由さを感じながらもボールを操作することなどが楽しかったです。私は、選手のみなさんはきっと自分の体を思うように動かせない気持ちや、もどかしさに苦労や辛さを感じる人が多いかと思っていましたが、それ以上にバスケットボールを通して楽しんでいることが分かりました。自分自身で車イスバスケットを体験できたからこそ感じられたこの思いを、もっと多くの人たちに知ってもらいたい、パラスポーツにもっと興味をもってほしいと思える体験会でした。



を感じましたが、それよりも普段自分が見ている視界とはちがった高さで車イスを漕いだり、車イスだからこそのスピードや、足を使えない不自由さを感じながらもボールを操作することなどが楽しかったです。私は、選手のみなさんはきっと自分の体を思うように動かせない気持ちや、もどかしさに苦労や辛さを感じる人が多いかと思っていましたが、それ以上にバスケットボールを通して楽しんでいることが分かりました。自分自身で車イスバスケットを体験できたからこそ感じられたこの思いを、もっと多くの人たちに知ってもらいたい、パラスポーツにもっと興味をもってほしいと思える体験会でした。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 3年 小川 史織
千葉県立銚子高等学校出身



～ゼミ活動で流しそうめん～

7月24日(火)に堀・山本ゼミ、総勢26人で恒例の流しそうめんを行いました。

学内の竹林から節の大きい竹を切り出し、枝払いをして竹を真っ二つに割り、節を取り除きました。そして竹の水路を支える三脚を設置して、水の流れ具合を調整して完成です。



手作りの竹の水路を、茹でたそうめんが流れ、それをキャッチして食べる美味しさは格別！ みんな大はしゃぎしながらお腹いっぱい食べ、大満足でした。流しそうめんは子どもから大人まで、夏の最高の思い出になると実感しました。



楽しい季節行事を企画・実施し、卒業後のそれぞれの就職先(幼稚園・保育園や施設等)でも、この経験を生かしたいと思えます。

短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 鶴澤 瑞樹
千葉県立土気高等学校出身



～レクリエーション大会を開催しました～

7月16日の海の日に、学友会企画のレクリエーション大会を開催しました。この企画は、私が運動会を開催したくて企画しましたが、運動会では男女で差がでたり、運動の得意な人が集まるなどチームで公平さがでてしまったりするので、レクリエーション大会を開催することにしました。

レクリエーション大会を開催するのは初めてで、準備期間も短かったので成功するのか不安でしたが、当日は大学4チーム・短大4チームで合計42名が参加してくれました。1位から3位までの豪華景品の獲得をめざして盛り上がりました。開催後にみんなが楽しかったと言ってくれたので、とても嬉しかったです。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 2年 島田 数久
富山県立水橋高等学校出身

pick up サークル

チア・ダンスサークル「Welfares」



こんにちは、チア・ダンスサークルの Welfares です。私たちは主にチア・ダンスでのボランティア活動を行っています。高齢者施設、障害者支援施設、被災地などのボランティアに参加しています。初めてのボランティア活動の後、話したことのない訪問先の方々と自然にハイタッチや肩を組んでいる自分がありました。その時の感動は今でも忘れられません。また、学園祭では、ライトアップされたステージの上でみんなの歓声を受けパワーをもらいのびのびと楽しくダンスをすることができました。

日々仲間と協力をし、限られた時間の中で集中して練習しています。練習には授業の空き時間や昼休みを利用しています。少しでも踊ることが好き！人を笑顔にしたい！と思ったらぜひ、Eスタジオまで足を運んでみてください。必ず楽しい充実した学生生活になります。私たちと一緒にサークル活動の素晴らしさを実感してみませんか。

日々仲間と協力をし、限られた時間の中で集中して練習しています。練習には授業の空き時間や昼休みを利用しています。少しでも踊ることが好き！人を笑顔にしたい！と思ったらぜひ、Eスタジオまで足を運んでみてください。必ず楽しい充実した学生生活になります。私たちと一緒にサークル活動の素晴らしさを実感してみませんか。



短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 中瀬 映帆
千葉県立佐倉南高等学校出身